

JASIS

NEWS

No. 32

2004/9/22

日本インテリア学会会報

■アジアインテリア学会日本大会 (AIDIA) にご参加のお願い

理事 小原二郎

表記の日本大会が10月15日（金）に東京ビッグサイトで開催されます。この大会に学会員はもちろんのこと、インテリアプランナー、インテリアデザイナー、インテリアコーディネーターの方々およびさらに広く産業界の方々にもご参加いただいて、わが国インテリア界の活性化をはかっていただくことをお願い申しあげる次第です。

ここでAIDIAの生まれた経緯を説明して、この大会の意義について認識を深めていただきたいと思います。ご承知の通りアメリカは近年研究の分野で大きな業績をあげて世界をリードするようになりました。それは大学行政に競争原理を取り入れた成果でした。この政策をアジアで一番早く取り入れようとしたのは韓国で、ヨーロッパではオランダだといわれています。日本も最近になってこの方針を取り入れ、文部科学省は「競争的環境の中にあって、個性の輝く大学」を支援することを宣言しました。韓国はそれより数年も早くからアメリカから講師を招き、第三者評価機関を設けて、大学の研究体制の活性化を強力に進めていました。そうした政策の中から生まれたのが韓国のインテリア学会でした。日本でインテリア学会が生まれたのはそれより早かったのですが、大学全体が旧来の護送船団方式の中で保護されていましたから、のんびりとした歩調で国内のインテリア界を対象にした学会づくりが精一杯という実情でした。

ところで99年の1月に韓国室内デザイン学会から、4月に日韓合同のシンポジウムを開くから日本からも出席して欲しいという通知を受け取りました。当時私は学会長をしていましたが突然のことであり、先方の事情もわ

かりませんでしたから、取りあえず手許の簡単な講演原稿を送り、副会長の島崎信氏と2人が学会代表ということで出席しました。

行事は世宗文化会館で行われました。当日の出席者は250人ほどで、充実した立派な大会になっていました。その時に聞いたところによると、この行事は室内デザイン学会（会員数1,000名）が中心となり、デザイン学会（会員数1,000名）、内装工事協会（1,800社）の協力で開催されたとのことでした。手厚い応待を受けて恐縮しましたが当方からはインテリア学辞典、インテリア大辞典、織田憲嗣氏の椅子大集成、島崎信氏の著書および数名の方の著書に拙著を加えて十数冊の文献を贈呈しました。当時は韓国にはまだ研究文献が少なく、拙著の翻訳版が使われていた頃でしたから、一応の面目は保たれたように思っています。それにしても韓国の学会の積極性に強い衝撃を受けて帰りました。その後で韓国が大学の競争原理を導入している話を聞いてなるほど納得できた次第です。

ところで00年の1月に、本年は中国、韓国、日本の学会が合同して、アジアにおけるインテリア学の向上を目指した大会を開催したい、については講演者を3名推薦して欲しいとの連絡がありました。急いで講演者を決め、また応援のために大会に出席して下さる会員を募集したりして大騒ぎをしましたが、幸い下島恒雄氏のご支援があつて、出発までに参加者20名を揃えることができて胸をなでおろしました。島崎副会長、清水忠男氏のご協力にも謝意を表さなくてはなりません。

さてソウルに到着したら、中国からもほぼ同数の参加者がありました。大会は韓国の出席者を合わせて250名程度で、3日間の行事は成功裡に終了しました。この時も両国にそれぞれ10冊ほどの著書・文献を贈呈しました。

ここで3国の合同学会の調印式について説明を補足し

ておきましょう。ソウルに到着した夜に条約文の検討会がありました。目的は前記のようですから、それについての異議はありませんでしたが、細部については多少の意見の食い違いがありました。結果として必要な場合は条文を改めるという1項目を加えて合意を得ました。その中で合同大会は隔年ごとに開催する、次回は中国が担当し、4年先の大会は日本が担当することが決まりました。

2年先の大会を担当するのは並大抵のことではないと思われたのに、中国があっさり引き受けたのには驚きました。しかし後で聞いてみると中国は室内設計学会を創立して10年になるが、それ以降20回近く海外との交流の研究会を行って来たので、あまり問題はないという。現在の学会員数は3,000名とのことでした。また韓国も創立8年であるが、毎年2～3回海外の研究者を招いて勉強会をやったとのことでした。両国ともそうした実績を持っていたから大会をあっさり引き受けることが出来たのだらうと納得した次第です。

調印式は前述のような経緯をへて19日の夕刻に朝鮮ホテルで行われました。ここは日本でいえば帝国ホテルに相当するところ。韓国の側は関連する分野の名士を含めて数十名の出席者があり、それに中国と日本の参加者が加わって百名余の人数で、3国合同学会の誕生を祝いました。それにつけても韓国が全体を通して同時通訳まで付けて周到な準備をした気配りには頭の下がる思いでした。

第2回のAIDIA大会は中国の担当で02年に西安で行われました。この大会には国際委員長の加藤力氏と理事の木村戦太郎氏が出席して下さいました。私は健康上の理由で欠席させていただきましたがこの大会については両氏からのご報告があると思うので割愛させていただきます。考えてみると学会というのは、国際的な活動ができるようになってこそ初めて一人前といえます。そこに目標を置きながら学会の発展を計って来たつもりでしたが、不十分な体勢のまま今日に至ったのは私の責任で不明を申し訳なく深く反省しています。

幸い今回の大会を迎えるに当たって、高橋会長、加藤国際委員長を初めとして多くの実行委員の方が、厳しい経済事情の中にもかかわらず献身的なご努力をされて、着々と準備が進められているのを見て大変嬉しく思い感謝しています。このうえは一人でも多くの方にご参加いただいて、日本大会を成功させていただくことをお願い申し上げます。



■AIDIA日本大会と併催行事の概要

1. 期日：2004年10月15日（金）9：00（受付開始）
2. 会場：東京ビッグサイト・国際会議棟6階
（〒135-0063 東京都江東区有明3-21-1
<http://www.bigsight.jp/>）
3. 当日プログラム
9：00 受付開始

10：00－10：45	開会式
10：45－12：15	基調講演 原田敬美 （都市政策研究所長、前・港区長）
13：10－14：00	日本代表講演 加藤 力 （宝塚造形芸術大学教授）
14：10－15：00	中国代表講演
15：10－16：00	韓国代表講演
16：00－17：00	質疑・集約 司会 清水忠男 （千葉大学教授）
17：00－18：00	閉会式
19：00－20：30	懇親交流パーティ （ディナークルーズ）

《 併催関連行事 》

IPEC21 2004年10月13日（水）～15日（金）東京ビッグサイト（江東区有明）

JASIS 年次大会 2004年10月16日（土）文化女子大学（渋谷区代々木）

本年度は、多くの参加を戴くため、またコストを合理化するためなどの理由で、IPEC21と同会場で1日重ね、またAIDIAの懇親交流会とJASIS年次大会の懇親交流会を重ねて企画しております。一人でも多くのご参加を、心よりお願い申し上げます。



■AIDIA 上海学生ワークショップ報告

木村戦太郎（文化女子大学）

本年7月25日から29日まで、上海・同済大学でアジアインテリアデザイン学会（AIDIA）主催の学生ワークショップ（2004 AIDIA Interior Design Students' Workshop）が開催されました。私は、加藤力3rd AIDIA Tokyo 実行委員長から連絡を受け、学生と共に参加してきました。上海は連日猛暑が続きましたが、学生達は若さで言葉の壁も乗り越えて課題に取り組み、交流も深めて大きな達成感を得たようです。

今回のワークショップは“人、空間、水”のテーマに基づき、設計対象の蘇州河沿いに建つ古い倉庫のリユース案を作成するものでした。人員構成の計画は、日・韓・中の三国から学生各18人・指導教員（助教授・助手）各6人が参加して6チームを編成するものでしたが、日本から指導教員は参加せず、東京大学・宝塚造形芸術大学・文化女子大学の学生達が参加しました。学生は各自、自作品を持参するよう指示されました。加藤先生と私は、平行して行われた会議に参加し、時々顔をだしては作業会場を巡回しました。

ワークショップ日程

- | | | |
|------|--------|-------------------|
| 7/25 | 08：00～ | 登録、グルーピング、作品提出と展示 |
| | 09：30～ | 上海の文化・歴史などの講義 |
| | 13：30～ | 設計対象地の見学（バス移動） |
| | 18：00～ | 歓迎パーティー |

7/26	市内見学
7/27	08:30～ 開会式
	09:00～ ワークショップ
7/28	09:00～ ワークショップ
7/29	09:00～ ワークショップ
	14:00～ 作品講評
	18:00～ 歓送パーティー

ワークショップでは、中・韓のチューターを中心に学生達がアイディアスケッチやコンセプトを提案し議論してアイディアを絞り込む作業が続けられ、繰り返されていきました。初日には夕食後に集合して夜中まで頑張り、二日目には徹夜組も出ました。各国学生とも私同様に英会話の不得手な学生も少なくない様でしたが、スケッチやモデルを介して熱い交流が見られました。

講評会のプレゼンテーションでは、提案を1つに纏められたチームがある反面、絞り切れずに5案提案したチームもあり、その辺に言葉の壁とチューターの熱意・力量が関係しているようにも感じられました。しかし、3日間に全力を出し切った今回の経験は、チューターにとっても学生にとっても得難い貴重なものだったであろう事は、講評会終了後の若者達のイキイキとした表情からも感じられました。日本でも AIDIA ワークショップが実現出来たら良いと感じた次第です。



▲ 会場となった同済大学
College of Architecture and Urban planning 棟



▲ 課題説明会風景



▲ ワークショップ風景



▲ 講評会風景

■第16回日本インテリア学会大会のご案内

JASIA 実行委員長 沢田知子

先の会報でもお知らせしましたように、本年の日本インテリア学会大会は、AIDIA と連携した開催となるため、研究発表を中心に1日間の日程で行われます。

大会会場は、東京新宿の文化女子大学、日程は10月16日（土）です。文化女子大学は、新宿駅南口から徒歩8分とたいへん便利な場所にあり、周辺には東京ガスのオゾンをはじめ、各種のインテリアショールームやショップなどが点在しています。そこで今年の大会は、研究者のみならず実務に携わる方々との情報交換や交流の場としもなるよう、建物の20階に見晴らしの良い休憩室を設けます。このスペースを多くの方々との交歓の場としてご活用いただければ幸いです。

また、催しのひとつとして、「インテリア空間と人間の行動・作法」というテーマでシンポジウムも予定しており、今後のインテリア学を展望する有意義な内容をと、企画中です。

大会発表のための参加のみならず、インテリア学に関心のある多くの方々の積極的なご参加をお待ちいた

しております。なお、大会開催の詳しいご案内は、9月下旬頃にお知らせする予定です。

■運営委員会だより

□総務委員会

委員長：上野義雪（千葉工業大学）

平成16年度日本インテリア学会総会を5月15日（土）に文化女子大学を会場に開催された。総会前に理事・評議員会の合同会議を開催し、後に総会そして懇親会が開催された。主たる議案は、平成15年度の活動報告と決算報告、平成16年度の活動計画、予算計画、そして10月に開催されるAIDIA東京大会開催、事務局の東京大学への移転などである。いずれの議案も承認され、新年度の本格的な活動を開始する運びとなった。次年度は役員改選の年であるため、今年中に選挙の実施を予定している。

□広報委員会

会報のあちこちにありますように、AIDIA 国際大会・日本大会が近づいて参りました。既に春に一度、各団体やメディア等に事前広報していますが、内容が固まっていなかったこともあり、必ずしも良い反応がありませんでした。会員各位のご参加を、心よりお願い申し上げます。さて広報委員会より、幾つかのお知らせです。

1) AIDIA リーフレットを作成・配布しています。

加藤力研究室（宝塚造形芸術大学）案（英文）をベースに、湯本長伯研究室（九州大学）にて英文・和文両版を作成、各方面に配布中（会員には全員にお届けします）です。

2) JASIS 紹介パンフレットを作成し広報に役立てています。

AIDIA 開催に伴い、JASIS・日本インテリア学会の紹介も、しばしば必要となりましたので、JASIS 紹介パンフレットを作成致しました。

これは昨年の大会で必要性が提案され、本年春の総会に広報委員会が原案を提出、表紙案の検討を経て、最終的に作成されました。表紙案は、小宮容一研究室（武庫川女子大学）案、湯本長伯研究室（九州大学）案を抑え、木村戦太郎研究室（文化女子大学）案が採用されました。

これらの費用はいずれも、AIDIA 実行委員会に寄せられた基金から、支出されています。皆様のご協力に感謝申し上げます。

3) AIDIA の広報、及び関連資料について

9月14日付けで、各メディア・団体（本会含む）などに1500部ほどリーフレットを発送しました。これには、AIDIA の趣旨及び日本大会当日のプログラムが記載されています。また併催される IPEC21（及び関連

会合）でも、一定数が広報のため配布される予定です。

また当日の資料として、プログラムや各国代表講演のプロシーディングを内容とする冊子が、作成・配布される予定です。その他に、論文集（エディタ：直井英雄・東京理科大学）・作品集（エディタ：鈴木敏彦・東北芸術工科大学）が発刊されます。

□論文審査委員会

委員長：直井英雄（東京理科大学）

本年も、応募論文の締め切りは10月末日です。AIDIA 大会と国内のインテリア学会大会があるので、お忙しいとは思いますが、ふるってご応募ください。

ところで、そのAIDIA大会の論文については、前号の本报でもお知らせしたように、AIDIA 実行委員会より本委員会に論文の募集と審査が付託され、その業務を進めつつあるところですが、ついこの間、前号の会報から若干の変更がありましたので、お知らせしておきます。

「AIDIA Journal」の論文数が「5カ国（地域）それぞれ最大6編」という条件は、韓・中・日の過去の話し合いに基づいて決められたものですが、そこには若干の誤解があった模様なのです。このたび新たに国際間で折衝した結果、「3カ国合計で30編程度」ということに変更されました。本委員会としては、この変更を受け、第1次審査で6編に採択されなかった応募論文についても、期限が迫ってはおりますが、応募を促すことといたしました。これにより、わが国からの論文は最大10編になる可能性があります。

■支部だより

□北陸支部

支部長：小松暁一（金沢美術工芸大学）

北陸支部では、平成16年度総会を6月12日に開催しました。今年度は場所を高岡短期大学で行うとともに、当学会の啓蒙を兼ねて『インテリアシンポジウム2004』も併せて開催しました。テーマは「これからのインテリア」と題して、女性の視点からのインテリアという観点から建築家で都市景観にも携わっている尾久彩子さんの特別講演をいただき、パネル発表では富山大学中嶋芳雄氏が「照明光によって映しだされる景観効果」、高岡短期大学長山信一氏が「昼と夜の景観照明の定量化」、村上建築設計研究所村上章彦氏が「快適化を目指したはずのインテリアが生活の安全を脅かしている問題点」、金沢学院大学棒田邦夫氏が「木造および床遮音によってできる階上居室の遮音効果」についてそれぞれ発表し、最後のまとめでは金沢美術工芸大学角谷修氏の司会でこれまでの発表とインテリアについてパネル討論を行いました。

当初つながらの薄い地域ということもあってどれだけの人が参加していただけるか心配していましたが、130名ほどの参加をいただきました。

なお、参加者のみなさまにはシンポジウム後にアンケートを書いていただいたのですが、好感的な意見をたくさんいただきました。これを機に支部の事業として定着していきたいと思っています。



▲ シンポジウム風景

□関東支部

支部長：小原 誠（文化女子大学）

1）第三回 AIDIA 開催の作業分担

本年9月15日開催の第三回 AIDIA の開催にあたり、AIDIA 実行委員会から関東支部においても分担作業が求められることになりました。主な内容は、招待ゲストのホテル予約、懇親会の手配、および開催日の設営・進行のサポートなどです。幹事会で検討の結果、ホテル予約関係は川島、長谷川両氏、懇親会は河村、見城、小林の三氏、開催日の設営・進行は岡田、田辺両氏と小原とが担当することになりました。ゲストのホテルは会場至近の有明ベイワシントンホテル、懇親会は東京湾観光汽船のディナークルーズと決まりました。エクスカージョンツアーは、翌16日がインテリア学会の大会なので割愛することとしています。AIDIA 開催日の前日・当日はかなりの人手が必要になりますので、支部会員諸氏のご協力をお願い致します。

2）3次元ソフト講習会・見学会

去る3月9日開催の「3DインテリアデザイナーPRO2」のソフト講習会に引続き2回目行事として、CAD 部会、教育部会との共催で“Sketch up”の講習会が7月31日に相模女子大で開催されました。講習会に先立ち、新設のマーガレットホールの見学会も実施されました。このソフトは3次元の立体から凸凹を切り取りながらデザインを進めて行く手法で、デザイン思考を妨げないのが特長ということでした。約40名が参加し、“Sketch up”を体験することができました。この講習会で理科大奥田研究室の岡本院生より、昨年までのインテリア CAD 製図法の実態調査の報告も行われました。

3）JASIS 大会後の見学行事

今年の大会は10月16日（土）に文化女子大で開催されますが、例年実施されている見学会は第三回 AIDIA や、IPEC のスケジュールと重なるため割愛されました。そこで翌日の関東支部行事として、この週に開催されてい

る目黒通りのインテリア祭り“MIST”を観察し、ホテルクラスカ辺りで意見交換会などを行なう企画も提案されましたが、同日にオゾンで開催されている北欧家具展示会の見学も提案されているので、この件は保留になりました。

その他の行事として、日立化成の結城工場で、各種のプラスチック成型法の現場を見学する件も提案されましたが、見学は平日ということなので、冬休みか春休み期間の行事になるものと予想されます。決定となれば支部行事として改めてご連絡致します。

□東海支部ー平成15年度支部事業

支部長：松本直司（名古屋工業大学）

支部総会（H15. 6. 7）

役員会（4回）

講演会①「揚輝荘の建築と庭園」（H15. 6. 7）

講師：麓和善名工大教授

②「中国古典庭園建築の室内配置について」（H15. 11. 11）

講師：劉庭風天津大学助教授

見学会①「揚輝荘の建築と庭園」（H15. 6. 7）

②「飛騨・高山のインテリア」（H15. 12. 6）

後援 講演会「健康で快適で安全な住まいー住まいと暮らしのクリニッカー」

主催：名古屋住環境研究会（H15. 11. 22）

平成15年度収支決算

収入の部

本部交付金	115, 000
副次収入	390, 104
前年度繰越金	63, 594
合計	568, 698

支出の部

事務費	21, 246
連絡費	16, 160
会議費	22, 282
事業費	412, 404
その他	30, 000
次年度繰越金	66, 606
合計	568, 698

□関西支部

支部長：北浦かほる（帝塚山大学）

関西支部ではイサムノグチの生誕100年にちなんで、7月3日（土）に①イサム・ノグチ庭園美術館と②榎桜製作所の見学会を催しました。

現地集合で、参加者は17名。真夏の太陽の下、エネルギーな1日を過ごしました。庭園美術館ではもてなしとして、庭の石に水を打って迎えていただきました。ジョージ中島の家具製作で知られる桜製作所では、ゆっくりと職人さん達の技をみせてもらいながら、日頃聞けないような木の話をうかがっていると時間の経つのを忘れてしまうような1日でした。

10月にはシーザペリ事務所の設計した国立国際美術館の見学会を予定しています。日程はまだ確定していませんが、10月の初めを予定しています。同時にグラフの事務所が近くにあるので、帰りに寄ってみる計画をしています。ふるってご参加下さい。日程が決まり次第支部会員にはお知らせしますので、お申し込み下さい。

□中四国支部

支部長：灰山彰好（広島女学院大学）

平成16年5月29日（土）、支部総会に続いて、中国インテリア協会との共催にて、広島工業大学教授黒岩俊介氏による「内へのインテリアーところをかたちづくるインテリア」と題する講演会を開催した。以下要旨－宗教空間は内へのインテリアを内部空間としてもつ建築である。インテリア interior とは、inter の比較級として「内部の、内なる」という意味であり、「間にある（inter）よりさらに内にある」ということを含意する。建築論的にみれば、「インテリア」はインテリア／エクステリア、つまり内/外という2元論を超越する、別の次元の「内」への志向性をもつ空間・場所である・・・

黒岩氏は西洋中世建築史が専門、したがって学際的な論題であったが、パワーポイントを駆使して豊富な図版をもとにインテリアの核心をつく議論を提案され、定員50人ほどの小さな会場は（久しぶりに）インテリジェントな熱気につつまれた。

■研究部会だより

□歴史部会 ―＜見学会＞＜講演会＞のご案内―

部会長：内藤 昌（愛知産業大学）

代表幹事：河田克博（名古屋工業大学）

本年10月に開催される大会に連動して、歴史部会主催の見学会を行う予定です。詳細が決定次第、歴史部会の会員の方にお知らせしますので、会員外の方にもお呼びかけください。

また、11～12月の土曜日午後の予定で、名古屋にて、講演会「21世紀のデザインを考える（PART－Ⅲ）」を開催する予定です。詳細決定次第、全会員にご連絡いたします（日程が合えば会報に掲載）。

□教育部会

部会長：北浦かほる（帝塚山大学）

教育部会では以下の3つの企画に取り組んでいます。

1. 卒業設計・制作作品展の作品集の作成

（担当：見城・高月・横山）

本年の大会で卒業作品展も11回目を迎えることとなりますので、過去の10年分の作品展の内容を記録しておくという意味も含めて、資料を冊子にまとめる作業を行っ

ています。本年の大会時に配布する予定です。

2. インテリア教育研究会（担当：田辺・植松・高柳）

「我が校のインテリア教育の特徴」

①どういった人材を育てようとしているのか

②そのためのカリキュラムの紹介

本年のインテリア学会大会時に上記のような主旨で、講師として、文化女子大（長山）、都立工芸高校（高柳）、共立女子大（岡田）の3氏にお願いして、話題提供していただき、インテリア教育の直面している問題について、会員の皆様と広く意見交換したいと計画しています。

3. 卒業生の進路調査と企業の採用人員調査

（担当：川島・河村）

インテリア教育を受けた学生の進路調査並びに、企業への採用人員調査を実施することで、要求されている人材の実態を把握する。現在調査項目・調査方法など最終の詰め段階に入っています。社会の変容の中で、インテリアを中心とする大学、短大の卒業生に何が求められているのかを的確に把握したいと思っています。

□CAD部会

－インテリア図面表現とCADの現状について－

部会長：川島平七郎（東横学園短期大学）

去る7月31日（土）、相模女子大学（神奈川県相模原市）において「第2回インテリアCADに関する研究会」を開催した。この研究会は、CAD部会において研究中の課題を広く本学会会員に対して発表するとともに、インテリアの表現に適した新しいCADソフトを体験的に検証する狙いで、CAD部会（担当：稲田深智子）、関東支部（担当：長谷川隆之）および教育部会（担当：川島平七郎）の共催により3回連続予定で実施中である。研究会に先立ち相模女子大学・山田智穂氏の案内によりマーガレットホール（事務室・ホール・学生食堂）の見学会が実施され、つづく研究会は同氏の挨拶に始まり、課題についての研究発表とCADソフトの体験検証を実施した。

前半の研究発表は、インテリアの図面表現の現状に関して、CAD部会が東京理科大学奥田研究室と協力してインテリア実務分野の専門家に対して行ったアンケート調査の結果について、岡本一紀氏（同研究室大学院生）が発表した。発表ではインテリアデザインの要求に適した表現方法を考え、標準化を検討するための基礎資料として、インテリア実務の各分野で現実に使用されている図面の現状を明らかにすることができた。

後半のCADソフトの体験検証は、3D概念設計ソフト「Sketch Up」を取り上げ、河村容治氏（CAD部会）の指導により一つの建物をデザインする流れの中で、多様なコマンドを体験し、その使い勝手を検証することができた。実際の操作は、フリーハンド・スケッチの感覚で比較的容易に3Dの空間を描き、その基本形に手を加えてさまざまに変形し、発展させていくことのできるもので、直感的な操作になじむソフトであることが分かった。

3時間にわたる研究会のあと、定例のCAD部会幹事会

を実施し、上記アンケート調査についての詳細は今秋の学会大会において発表することなど、今後の進め方について検討・決定した。

会場および施設を無償で提供して頂いた相模女子大学、およびソフトウェアを無償で提供して頂いたエーエンドエー(株)には、心よりお礼を申し上げたい。会員を中心に30人あまりの参加者があり、熱心に取り組む姿勢が印象的であった。

なお、今秋には第3回の研究会を実施予定である。奮ってご参加いただきたい。



▲ 歓迎挨拶：山田智稔（中央）、講師／河村容治（右）、司会／長谷川隆之（左）



▲ 熱心な研究会風景：設計者や学生の姿も目だった

■平成16年度総会議事録

総務委員長：上野義雪

日 時：平成16年5月15日（土）14:30～15:20

会 場：文化女子大学A175演習室

司 会：西出

議 長：岡島

記 録：藤城 松崎 上野

議 事：

1. 開会宣言（西出）

2 定足数の確認

- ・総会成立に必要な定足数（正会員の1／4以上）を確認し、議事を進めた。正会員数535名、委任状162名、出席者数31名で総会成立。

3. 議長団の選出（西出）

- ・議長：岡島副会長
- ・書記：藤城事務局長、総務担当 松崎・上野
- ・議事録署名人：小原（誠）、栗山

4. 会長代行の件

- ・高橋会長入院のため、総会の会長代理を事務局案による島崎副会長に決定。

5. 第1号議案 H15年度事業報告および決算報告の件

- ・藤城事務局長の努力により、支出を大幅に抑えることができた。
- ・平成15年度決算の収入繰越決算額と合計の額に50円を加えて修正。
- ・事業報告および決算報告の後、大谷監事により監査報告がなされ、H15年度事業報告・決算報告は承認された。

6. 第2号議案 H16年度事業計画および収支予算の件

- ・平成15年度の実績をもとに予算を計上した。今年度は、AIDIA大会、役員の改選が予定されている。
- ・収入の部における会費収入の合計額に200,000円を加えて修正。
- ・組織図においてAIDIA準備会を実行委員会に、理事会の下部組織として位置させる。
- ・高橋会長提案の学会活動活性化に向けての試案（平成15年度第2回理事会議事録）を各支部・部会で実施を計画。

7. 理事補充の件

- ・会長の推薦枠として、関東から、若宮直行氏（リビングデザインセンター）、松本吉彦氏（旭化成）、関西から小宮容一氏（芦屋大学）を推薦、承認。

8. 事務局移転の件

- ・事務局を東京大学西出研究室に移転する。西出研究室ではAIDIA事務局の業務を行っているため、AIDIA大会終了後を目途に移転できるよう準備する。

9. AIDIA東京大会の件（木村）

- ・加藤実行委員長欠席のため、木村理事から準備状況の説明がなされた。
- ・会期、会場、内容、出版物などの概要説明。参加費20,000円（論文、作品集等）
- ・AIDIA資金調達について

全体の予算規模は約900万円、調達予算は約250万円、

①支部・研究部会活動費から援助金の支援を要請する。

②全理事を財務委員に任命し、理事一人あたり企業からの支援金2口を目安に調達を要請する。③AIDIA大会案内とJASISパンフレットを7月目途に作成する。

10. 日本インテリア学会16回大会（10月16日（土））の件

- ・文化女子大を会場。
- ・理事会、懇親会は大会前日の10月15日（金）午後に予定。懇親会はAIDIAと合同開催。
- ・見学会はIPEC21の見学（10月15日）にあてる。

- ・卒業制作展の会場は文化女子大で。大会前日夜の準備になる。
 - ・宿泊の案内は行わない。
 - ・大会案内（5月下旬、7月下旬）、原稿締切（8月中旬）、最終案内（9月中旬）、梗概発送（10月上旬）
11. 学会経費の件
- ・会費未納者：会員の1割弱、賛助会員も数社あり。督促を継続。
12. 会員増強・広報活動の件
- ・ホームページの開設は、しばらくは湯本理事のHPを介して活用する。一部の理事にHPの開設を強く希望。
 - ・名簿の作成：今年度中に発行。
13. 学会活動の活性化
- ・支部・部会活動の報告義務：総会資料に活動報告を掲載。
 - ・予算の適正配分：支部、部会の配分予算を前年度の活動状況と繰越額に応じて配分。
 - ・研究テーマの設定：高橋会長による活動目標メモ（H15第2回理事会）を支部・部会で具体化し、実施する。
 - ・学会の法人化：NPO法人化のために、湯本理事による具体的検討。
 - ・研究梗概集の事前配布：H16年度は、会期開催日が早いため、H17年度から実施。
13. 『インテリア学大系 or 体系』の出版計画
- ・理事会の承認と総会時の報告が必要

■平成16年度理事会・評議会等議事録

総務委員長：上野義雪

□ 1. 平成16年度第1回理事会議事録

日 時：平成16年4月22日（木）18:00～20:50

会 場：東京都厚生事業団神楽坂エミール

出席者：高橋 岡島 小原（二） 小原（誠） 北浦
木村 栗山 伊藤（小西代） 沢田 清水
直井 松本 湯本 藤城 上野

進行役：上野

記 録：上野

議 事：

平成16年度第1回理事会議題により議事を進めることにした。

1. 会長挨拶（高橋）
皆様の知恵を得ながら新しい学会に育てたい。
2. H15年度第2回理事会議事録の承認
3. H15年度第2回会長補佐会議議事録の承認
4. H15年度決算報告（案）の承認
・項目番号の訂正。
5. H16年度予算（案）の承認
・予備費欄に名簿印刷費用を入れる。
・正会員会費収入の備考欄に会員の支払い見込み数を

- 割合で表記。
6. 学会経費の件
- ・会費未納者：会員の1割弱、賛助会員も数社あり。督促を続ける。
 - ・準会員の会費納入：大学院修了後に会員継続の可否を推薦者から確認。
 - ・賛助会員の会費納入：AIDIAの寄付金をあわせて依頼。
 - ・入会申込書の見直し：推薦者を1名に。
 - ・各理事は新会員を2名入会させる努力をする。
7. 会員増強・広報活動の件
- ・学会パンフレット（日本版・英語版）：本年度の大会前に作成。広報委員会が担当。
 - ・学会のロゴ・マークが必要
 - ・ホームページの開設：しばらくは湯本理事のHPを介して活用するが、予算内で可能ならば、その方向で検討する。HPからの入会申し込みも可能となる。
 - ・名簿の作成：今年度中に発行。次年度には役員改選があるため簡易製本とする。会則、広告掲載、メールアドレスの扱い。
8. 理事補充の件
- ・会長推薦枠として、企業から関東2名、関西1名を補充する。関東では、若宮直行氏（リビングデザインセンター）、松本吉彦氏（旭化成）、関西は加藤副会長から候補者を推薦。
 - ・白石光昭氏（小山高専）の推薦は理事候補者として次回に見送る。
9. 事務局移転の件
- ・事務局を東京大学西出研究室に移行する計画。AIDIA事務局と平行して事務局運営には無理があるため、AIDIA大会終了後に移転できるように準備する。電話設置やスペース上の問題は、解決方法を見つける。
10. AIDIA 東京大会の件
- ・各国学会長宛に論文・作品募集の依頼文を発送する。国内向けには会報31号に掲載。
 - ・国内では、作品をどこでどの様に審査するかなど、次回のAIDIA実行委員会で検討。
 - ・5月15日開催のJASIS総会に来日予定の中国学会長はビザの関係で来日中止。
11. H16年度総会開催の件
- ・文化女子大を会場に。総会において「インテリア学会の明日を考える」をワークショップとして実施する。実施内容は、高橋会長と総務で検討。3グループに分ける（学会とは何か。学会活動の見直し。学会制度の見直し）。3室を用意。
 - ・懇親会は新宿パークタワー地下にて実施。
12. 日本インテリア学会16回大会（10月16日（土））の件
- ・文化女子大を会場。
 - ・理事会、懇親会は大会前日の10月15日（金）午後に予定。懇親会はAIDIAと合同開催。
 - ・見学会はIPEC21の見学（10月15日）にあてる。
 - ・会場案内程度の通訳は考えたい。千葉大からの応援可能。

- ・卒業制作展の会場は文化女子大で。大会前日夜の準備になる。
 - ・宿泊の案内は行わない。
 - ・大会案内（5月下旬、7月下旬）、原稿締切（8月中旬）、最終案内（9月中旬）、梗概発送（10月上旬）
13. 役員改選（任期：H17・18・19年度）
- ・平成16年度中に実施。12月下旬：評議員選挙、1月下旬：理事選挙
14. 学会活動の活性化
- ・支部・部会活動の報告義務：総会資料に活動報告を掲載。
 - ・予算の適正配分：支部、部会の配分予算を前年度の活動状況と繰越額に応じて配分。
 - ・研究テーマの設定：高橋会長による活動目標メモ（H15第2回理事会）を具体化して実施する。
 - ・学会の法人化：NPO法人化のために、湯本理事から具体案を検討願う。
 - ・研究梗概集の事前配布：H16年度大会から発送代行（くろねこ）の利用し、事前配布を実施する。
15. 『インテリア学大系 or 体系』の出版計画
- ・10巻程度を予定、内容については議論が必要。出版の目途がついた時点で理事会の承認を得る。総会時に報告。
16. 入・退会承認の件
- ・正会員退会：17名、入会：3名。準会員退会：6名、入会：4名
17. 次回理事・評議員会の開催日程
- ・開催日時：5月15日（土）12時～14時20分、引き続き総会、ワークショップ、懇親会
18. その他

□ 2. 平成16年度第2回理事会・第1回評議員会議事録

日 時：平成16年5月15日（土）12:10～14:10

会 場：文化女子大学 C041国際会議室

出席者：島崎 渋谷 岡島 内藤 小宮 西出

小原（誠）北浦 森保 平田 大谷 木村

栗山 伊藤（小西代）角谷（小松代）日原

灰山 清水 直井 湯本 小林 田辺 川島

渡辺 藤城 上野 松崎

進行役：上野

記 録：藤城 松崎 上野

議 事：

上野総務委員長の司会により、平成16年度第2回理事会並びに第1回評議員会の合同委員会を進めることにした。

1. 定足数の確認
 - ・理事会（1／2以上）・評議員会（1／3以上）成立に必要な定足数を確認し、議事を進めた。
2. 会長代行の件
 - ・高橋会長入院のため、理事・評議員会の会長代理を事務局案により島崎副会長に任命。
3. 島崎会長代行挨拶（島崎）
 - ・高橋会長に代わり AIDIA 東京大会の実施に向けて、

会員の協力を仰ぎたい。

4. 第1号議案 H15年度事業報告および決算報告の件
 - ・藤城事務局長の努力により、支出を大幅に抑えることができた。
 - ・平成15年度決算の収入繰越決算額と合計の額に50円を加えて修正。
 - ・事業報告および決算報告の後、大谷監事により監査報告がなされ、H15年度事業報告・決算報告は承認された。
5. 第2号議案 H16年度事業計画および収支予算の件
 - ・平成15年度の実績をもとに予算を計上した。今年度は、AIDIA 大会、役員の改選が予定されている。
 - ・収入の部における会費収入の合計学に200,000円を加えて修正。
 - ・組織図において AIDIA 準備会を実行委員会に、理事会の下部組織として位置させることで承認。
 - ・高橋会長提案の学会活動活性化に向けての試案（平成15年度第2回理事会議事録）を各支部・部会で実施を計画。
 - ・会費支払いを口座引き落としへ移行する意見あり。実施の可能性について検討する。
6. 理事補充の件
 - ・会長の推薦枠として、関東から、若宮直行氏（リビングデザインセンター）、松本吉彦氏（旭化成）、関西から小宮容一氏（芦屋大学）を推薦、承認。
7. 事務局移転の件
 - ・事務局を東京大学西出研究室に移転する。西出研究室では AIDIA 事務局の業務を行っているため、AIDIA 大会終了後を目途に移転できるよう準備する。
8. A I D I A 東京大会の件（西出）
 - ・加藤実行委員長欠席のため、西出理事から準備状況の説明がなされた。
 - ・AIDIA パンフレット（仮）が配布され、会期、会場、内容、出版物などの概要について説明された。
 - ・AIDIA 資金調達について

全体の予算規模は約900万円、調達予算は約250万円、

 - ①支部・研究部会活動費から援助金の支援を要請する。
 - ②全理事を財務委員に任命し、理事一人あたり企業からの支援金2口を目安に調達を要請する。
 - ③広告費としての寄付が現実的。
 - ④赤字の場合の責任と処理。
 - ⑤AIDIA の全体像が見えない。学会員に的確な情報伝達に心がける。
 - ⑥AIDIA 大会案内と JASIS パンフレットを7月目途に作成する。
9. 学会経費の件
 - ・会費未納者：会員の1割弱、賛助会員も数社あり。督促を継続。
10. 会員増強・広報活動の件
 - ・ホームページの開設は、しばらくは湯本理事のHPを介して活用する。一部の理事にHPの開設を強く希望。
 - ・名簿の作成：今年度中に簡易印刷で発行。
 - ・学会パンフレットの作成は、湯本理事案をもとに木村理事から提案をお願いする。AIDIA 支援金依頼活動までに間に合わせる。

11. 日本インテリア学会16回大会（10月16日（土））の件
 - ・文化女子大を会場。
 - ・理事会、懇親会は大会前日の10月15日（金）午後に予定。懇親会はAIDIAと合同開催。
 - ・見学会はIPEC21の見学（10月15日）にあてる。
 - ・会場案内程度の通訳は考えたい。千葉大からの応援可能。
 - ・卒業制作展の会場は文化女子大で。大会前日夜の準備になる。
 - ・宿泊の案内は行わない。
 - ・大会案内（5月下旬、7月下旬）、原稿締切（8月中旬）、最終案内（9月中旬）、梗概発送（10月上旬）
12. 学会活動の活性化
 - ・支部・部会活動の報告義務：総会資料に活動報告を掲載。
 - ・予算の適正配分：支部、部会の配分予算を前年度の活動状況と繰越額に応じて配分。
 - ・研究テーマの設定：高橋会長による活動目標メモ（H15第2回理事会）を具体化して実施する。
 - ・学会の法人化：NPO法人化のために、湯本理事に

よる具体的検討。

- ・研究梗概集の事前配布：H16年度は、会期開催日が早いため、H17年度から実施。

13. 『インテリア学大系 or 体系』の出版計画
 - ・理事会の承認と総会時の報告が必要

□3. 平成16年度 第1回臨時理事会議事録

日 時：平成16年5月15日（土）15:20～15:25

会 場：文化女子大学A175演習室

出席者：島崎 渋谷 岡島 内藤 小宮 西出

小原（誠）北浦 森保 平田 大谷 木村

栗山 伊藤（小西代） 角谷（小松代） 日原

植松 河村 岡田 安藤 高田 藤城 上野

松崎

進行役：上野

記 録：藤城 松崎 上野

議 事：

1. 会長代行の件

- ・高橋会長入院のため、会長復帰までの間、会長代理を事務局案の岡島副会長に委嘱することが承認された。

■事務局より

事務局長：藤城幹夫

1) 会員異動（H16年5月15日：理事会承認分、賛助会員分は未承認）

<個人会員：退会>

宮城由紀子：宮城デザイン事務所・正

宇佐美壽治：日本ベッド製造㈱・正

荒川恵美子：正

伊藤 茂：大阪芸術大学・正

坂田 種男：坂田研究室・正

清水 要：東亜大学・正

大沼 新一：東北ミサワホーム㈱・正

大倉 直美：大倉設計事務所・正

田中 至盛：京都大学大学院・準

平田 陽子：京都光華女子大学・正

末広 喜三：（財）住宅産業情報サービス・正

名塚 詔子：（有）デコール・ラコ・正

大墨 正：SMI・DESIGN OFFICE・正

細井 一夫：Marketinf Studio KAI・正

吉野 泰：愛床コンサルティング・正

吉松 孝夫：職業能力開発総合大学校・正

金井 昌昭：東京理科大学院・準

岸本 文一：東京理科大学院・準

豊島 純：東京理科大学院・準

前川 隆裕：東京理科大学院・準

志田 有彦：㈱河合楽器製作所・正

光藤 俊夫：光藤研究室・正

松村 誠：千葉工大院・準

<個人会員：入会>

田口 実枝：田口デザインスタジオ・正

竹中 治：㈱リブラン・企画設計室・正

高橋 康代：東京理科大学院直井研・準

三上 喜隆：東京理科大学工学部直井研・準

渡辺 祥史：東京理科大学院直井研・準

佐藤 歩：東京理科大学院直井研・準

<賛助会員：入会>

㈱NTT ファシリティズ・代表取締役社長：布谷 龍

二様（1口）：〒108-0023東京都港区芝浦3-4-1

グランパークタワー26F

<賛助会員：退会>

郡山デザイン専門学校H16年8月9日付け

（協）府中インターハウジングH16年7月2日付け

2) 住所変更・勤務先異動

- ・下島 資子：（新住所）〒256-0812 神奈川県小田原市国府津5-12-7

- ・番場美恵子：新〒No⇒〒154-8533 世田谷区太子堂1-7-57 昭和女子大学生生活美学科

- ・竹下 輝和：（新住所）〒819-0013 福岡市西区愛宕浜2-3-8-503

- ・斉藤 義男：（新住所）〒920-0944 金沢市三口新町2-9-18

- ・宮田 直子：（新住所）〒461-0001 名古屋市東区泉1-3-32

- ・石丸 紀興：（新）広島国際大学 社会環境科学部 広島県呉市広古新開5-1-1

- ・建部 健治：（科名変更）愛知工大 工学部 都市

環境学科建築環境学専攻

- ・森永 智年：（校名変更）九州職業能力開発大学校
建築科
- ・峰 健二：（勤務先異動）ミサワホーム西関東(株)
さいたま市中央区丹阿彌7-7-8
- ・吉田 信治：（新キャンパス）名古屋デザイン専門
学校 〒464-0850名古屋市千種区今池4-13-12
Tel：052-745-8655
- ・宮後 浩：（新住所）(株)コラムデザインセンター
〒542-0081大阪市中央区南船場1-5-11
Tel：06-6267-4631

3) 事務局移転のお知らせ

5月15日・役員会、総会においてかねてより計画中の

事務局移転の件が正式に承認され、10月中の移転を目指して作業が進められております。会員の皆様にはご不便をお掛けいたしました。今後は東大工学部西出研に移転し、会の発展と一層の会員サービスを目指します。

4) 会費納入のお願い

8月18日現在で、正・準会員500余名中、173名の方が本年度会費を未納です。会員サービスが多くの方に行き渡るよう一層のご協力をお願いする次第です。15年度会費も未納の方は休会扱いとさせていただきます、郵便物の送付は休止しております。

また退会の場合は速やかに支部か事務局あてご連絡ください。

■編集後記

本年度1回目の発行になる32号です。AIDIA 大会、JASIS 大会のご案内と同封発送という事情のため、発行が幾分遅くなりましたことお詫び申し上げます。ご多忙中、短期間での執筆依頼にもかかわらず快くご寄稿いただいた皆様に紙面をお借りして御礼申し上げます。

次号は、大会号として12月発行を予定しています。会報に関するご意見、ご寄稿などございましたら、広報委員会・会報編集担当（watanabe@bunka.ac.jp）までお寄せいただければ幸いです。

（渡辺秀俊）

■事務局

日本インテリア学会事務局（千葉分室）

事務局長 藤城 幹夫

〒262-0045 千葉市花見川区作新台2-23-11

FAX：043-286-7456

■日本インテリア学会会報第32号（2004.9.22発行）

編集者：湯本長伯、渡辺秀俊

発行者：高橋鷹志（日本インテリア学会会長）

広報委員会：湯本長伯、小林輝暹、藤城幹夫、
白石光昭、渡辺秀俊